



ネットワーク団体紹介

しりあっChaO



今回は、コロナ禍でもできる限りの活動を続けていらっしゃる4団体をご紹介します。

第33回青少年育成廿日市市民大会

10月3日、今年も青少年育成廿日市市民会議はコロナウィルス感染症対策に気を付けながら、廿日市内の小中学生から募集した標語入選作品の表彰、子どもたちによるピアノ演奏など、無事、市民大会を終えました。



応募総数 7635 点の中から、特選に選ばれた標語 10 作品をご紹介します。



★特選作★

家族がね 笑ってるとこ だーいすき	廿日市小 1 年	大川 晴輝
とうちゃんは いつもおしごと かつこいい	吉和小 3 年	大村 華
マスクでも 目を見てあいさつ 気持ちいい	大野東小 3 年	渡 健人
なりたいな 命を大事に 出来る人	平良小 3 年	梅原 蘭
あいさつで 心と心 ハイタッチ	佐方小 5 年	土居 柊斗
いじめゼロ 悲しい顔は 見たくない	阿品台西小 6 年	西 奏多
ディスタンス はなれていても 心はひとつ	宮島小 6 年	酒井 陽向
気づこうよ いつもと違う 友達に	廿日市中 2 年	一橋 杏
ふみ出そう 勇気一瞬 後悔一生	四季が丘中 2 年	有木 真尋
また明日 言える幸せ かみしめて	大野中 3 年	泉 祐成 (敬称略)

町内会連合会 ZOOM 研修 開催!

11月16日、廿日市市町内会連合会は、廿日市市協働推進課のサポートを受け、ZOOM 会議の研修会を開催しました。

★目的★

- 1、本会会員、町内会長、地域住民を一堂に会しての研修会の開催は初めての取り組みであるが、コロナ禍により様々な地域活動が困難な今を契機にとらえ、「まちづくり」に焦点をおき、オンラインにて実施する。
- 2、行政だけでなく、私たち地域住民も関わるまちづくりの魅力と将来を共有する。
- 3、町内会・自治会など地域コミュニティのニーズをきっかけとして、「協働によるまちづくり」における行政や事業者と地域の連携・課題解決の可能性を探る。



ハロウィン ベストコスチューム 🎃

廿日市市国際交流協会では、10月の1か月間を応募期間とし、協会公式LINEにて会員のみさんから仮装した写真の応募を受け付け、人気投票し、ベストコスチュームを選ぶというイベントを行いました。

協会運営の日本語教室に通う在住外国人のみさんに投票していただき、上位3名の方にはクリスマスを楽しめる詰め合わせギフトボックスが贈られ、コロナ禍ならではの楽しいイベントでした。

👑 1 位 👑



投票風景



サキちゃん

ザ ハッピークラウン



コウキくん

ザ レインボウジョーカー



クリスマスを楽しめる
ギフトボックス

第25回 VOICE2021 大会

今年の発表課題「今の学びから得たもの(こと)」

日時 令和3年12月5日 12:30~15:30

場所 廿日市市総合健康福祉センター 山崎本社みんなのあいプラザ 健康指導室

VOICE 大会は、例年さくらびあ小ホールで、廿日市内の小・中学生(各校代表1名)が、意見発表を通じて大人と子どもの相互理解を促進し、併せて自分の主張を正しく他人に伝える表現力を向上させることを目的とし、今年で25回目となりました。

しかし、昨年に引き続き、今年もコロナウィルス感染症防止のため、みなさんに聞いていただくことが出来ず、あいプラザでの動画発表となり審査員のみで行われました。

来賓の松本市長、生田教育長のご挨拶をいただき、小学校17校、中学校11校の児童・生徒が、コロナ禍の生活で失ったことなく、その中で学んだことの発表がありました。

審査の結果、小学校7名、中学校4名を優秀賞に選び、審査委員長の尾道市立栗原小学校 石川校長先生より講評をいただきました。

後日、発表者全員にメダル・賞状・DVDが各学校を通して手渡されます。今年も子供たちの力強い発表を聞くことができ、これからの未来を担う心豊かな大人に成長してほしいと願いました。



主催：VOICE 実行委員会(廿日市市子ども会育成連絡協議会)

10月20日、廿日市小学校2年生の生活科の学習の一環として、当センターに8名ほどの可愛いお客様が来館されました。
毎年、廿日市地区まちづくり協議会の会員の方たちが小学校PTAと協力して、子どもたちの見学先（今年は17カ所）に分かれて引率などサポート役にまわられます。約1時間という限られた時間の中で、子どもたちが質問し聞き取った内容のメモを取る作業をフォローし、小学校から見学先の行き帰りの交通ルールなど気にしながらの引率です。
施設や商店の見学やインタビューを通して、廿日市で働く人々や町の様子を眼・耳・肌で知り、自分たちの住む地域廿日市に関心をもってもらいたいという思いで、毎年、廿日市小学校2年生の町たんけんのお手伝いを続けています。



登録団体代表者研修会

各団体の代表者に参加いただき、当センターの近況報告と、社会貢献活動についての講演会を行います。他団体を知る機会にもなりますので、ぜひご出席ください。

- ◆日時：令和4年2月5日(土) 13:30~15:30 (13:00開場)
- ◆場所：市民活動センター 2階 第1研修室
- ◆講師：山野 悦子さん・松浦 和子さん (防府市地域協働支援センター長)
- ◆演題：「明日をよくする小さな一歩を一緒に考えて、市民の活動の輪を広げよう！」
※コロナウィルス感染症拡大の状況により、急遽変更となる場合もございます。ご了承ください。
※代表者の出席が難しい場合は、代理の方をお願いします。
※駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

“センターまつり 2022” は中止となりました

本年も、昨年度に引き続き、コロナウィルス感染症拡大防止の観点から、令和4年3月6日に予定しておりましたセンターまつり2022の中止を決定いたしました。楽しみにしていただいていた皆様には申し訳ございませんが、来年度こそ実施できますように、また準備してまいります。
今後も感染対策をとりながら、一緒に頑張ってまいります！

展示作品 募集しています！

毎年、当センター2階のロビー展示コーナーに、登録団体のみなさんから募集しセンターまつりで投票いただいた上位10点の写真を1年間展示しておりましたが、まつりの中止により、みなさんからの作品を募集します。
写真に限らず、活動のなかで作成された絵画など、センターを利用されるみなさんに鑑賞していただきたい作品がありましたら、ぜひご持参ください。
※展示コーナーは壁面のスペースとなります。
※お問い合わせはセンター事務局受付まで



消防訓練・大掃除の報告

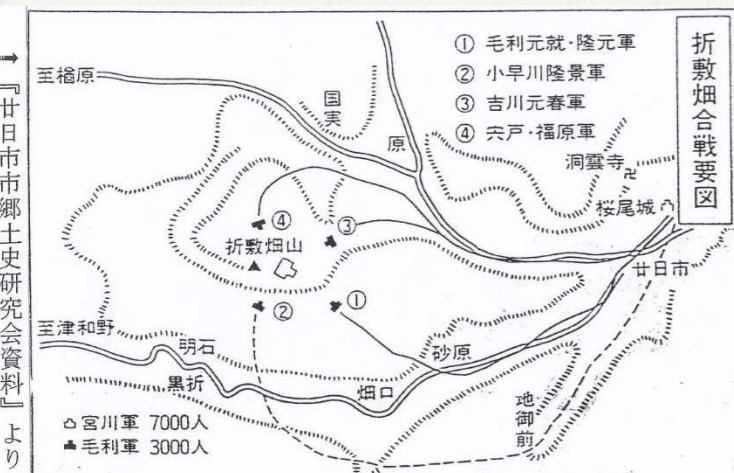
12月9日、10時より消防訓練をおこない、その後大掃除を行いました。有志約75名(登録団体42団体)のご参加をいただき、普段出来ない窓掃除、エアコンフィルターの掃除など、とてもきれいにさせていただきました。みなさまのご協力のお蔭で気持ちよく新年を迎えられそうです。
来年も引き続き、よろしくお願い申し上げます。



佐伯・今昔物語

その七 折敷畑を攻めるの語(こと)

今は昔、折敷畑の陶軍を攻める毛利軍のことを話そう。
相良遠江守春忠は毛利元就に、陶晴賢の討伐に立ち上がるよう説得したので、家来の侍七千あまりと農兵一万二千人あまりを率いて、天文二十二年六月六日の暮れ方には、先発隊の二千余騎が白砂村(現在の広島市佐伯区湯来町白砂)に到着し、毛利元就は廿日市に到着した。
その夜の合言葉は、むかし神武天皇が東征のとき勝利したり、日本武尊(やまとたけるのみこと)が川上臯師(たける)を組み敷いたという猛々しさにあやかって「竹・木(猛き)」にした。
毛利軍は廿日市の桜尾城に集結して、宮内明石の折敷畑に陣を敷いた陶軍を攻める作戦を相談した。折敷畑を攻めるときは大声を出さず暗くても明かりを灯さず静かに登ることにした。



記事協力 佐伯文芸クラブ 今田進

ネットワーク団体からの

お知らせコーナー

掲載希望の方はセンター受付まで！
次回59号は3月末発行予定です。

新成人サッカー大会

日時：令和4年1月8日(土)
2021年新成人対象
令和4年1月9日(日)
2022年新成人対象
場所：グリーンフィールド
9:00 キックオフ
対象：新成人(中学校区対抗8人制)
主催：新成人サッカー大会実行委員会

いろいろな国の人と話そう

日時：令和4年1月30日(日)
10:00~11:30
場所：市民活動センター 第2研修室
カンボジアやスリランカの方たちとけん玉交流会も開催します！
主催：廿日市市国際交流協会
後援：(公財) AFS 日本協会広島支部

2022レクリエーション見本市

With コロナでできるレク

日時：令和4年2月27日(日)
10:30~15:30
場所：中区スポーツセンター 小体育室
参加費：大人1000円 高校生200円
主催：NPO法人ひろしまレクリエーション協会
共催：広島県レクリエーション協会

お問い合わせ先 廿日市市民活動センター
廿日市市住吉 2-2-16 ☎0829-32-3741 fax0829-32-3742
HPアドレス <http://www.hatnet.jp/>

ネットワーク現在の状況
(令和3年12月末現在)
登録団体 151 団体

年末年始休館日：12月29日(水)~1月3日(月)